澤田ホールディングス

平成25年3月期

決算説明資料

本資料は、当社の平成25年3月期決算の業績概要及び今後の経営展望に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料には当社の将来に関する記述が含まれております。当該記述は当社の将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。従って、将来の業績に関しては、当社の経営環境の変化等により変更を余儀なくされることがあることにご留意下さい。

会社概要

澤田ホールディングス

商号	・澤田ホールディングス株式会社　Sawada Holdings Co.,Ltd.
代表者	・代表取締役社長　澤田　秀雄
所在地	・東京都 新宿区 西新宿 6-8-1 住友不動産新宿オークタワー27F
設立	・昭和33年1月21日
資本金	・12,223,312,500円
従業員	・4名(単体)、 6,747名(グループ)
グループ会社数	・連結子会社　7社　　・持分法適用関連会社　6社
発行済株式総数	・40,953,500株
時価総額	・38,086,755,000円

平成25年3月末時点

グループ会社展開

澤田ホールディングス

連結子会社：7社　持分法適用関連会社：6社

＜ 主要関係会社 ＞　● 連結子会社　▲ 持分法適用関連会社　　平成25年3月末時点　※1

	社名	議決権比率
銀行業務	● ハーン銀行 （Khan Bank LLC.）	54.41%
	▲ ソリッド銀行 （Solid Bank CJSC） ※5	40.00%
証券業務	● エイチ・エス証券（株）	100.00%
損害保険業務	▲ エイチ・エス損害保険（株）	49.63%
債権管理回収業務	● エイチ・エス債権回収（株）	100.00%
商品先物取引業務 ※4	● エイチ・エス・フューチャーズ（株）	100.00%
外国為替取引業務	▲ （株）外為どっとコム	37.81%
VC業務	▲ エイチ・エス・アシスト（株）	37.59%
少額短期保険業務	▲ エイチ・エスライフ少額短期保険（株） ※3	35.60%
再生ビジネス	▲ 九州産業交通ホールディングス（株） ※2	33.40%
	● （株）アスコット	42.34%

※1　ハーン銀行（Khan Bank LLC.）及びソリッド銀行（Solid Bank CJSC）は、平成24年12月末（当期末）時点の数値を表示しております。

※2　当社は、九州産業交通ホールディングス㈱に対する公開買付け（TOB）に応募し、平成24年7月に当社が保有する同社株式の一部を公開買付者に譲渡したため、同社株式の保有割合は33.40％となっております。

※3　エイチ・エスライフ少額短期保険㈱は、同社が第三者割当増資を実施した結果、当社の保有する同社株式の保有割合が44.5％から35.6％となったため、同社は第2四半期連結会計期間より連結子会社から持分法適用関連会社となっております。

※4　エイチ・エス・フューチャーズ㈱は、平成24年9月11日付で商品先物取引業を廃業しております。

※5　当社は、平成24年12月にソリッド銀行（Solid Bank Closed Joint-Stock Company）の株式を取得し、同社は当連結会計年度より持分法適用関連会社となっております。

業績概要

澤田ホールディングス

グループ連結

（単位 ： 百万円）

	24年3月期	25年3月期	前年同期比
営業収益	25,678	28,661	111.6%
純営業収益	14,043	14,635	104.2%
営業利益	4,099	4,583	111.8%
経常利益	5,241	5,200	99.2%
当期純利益	1,679	3,016	179.7%

（単位 ： 百万円）

	24年3月期	25年3月期	前年同期比
総資産	174,129	226,836	130.3%
純資産	29,884	36,470	122.0%
現預金	33,424	45,533	136.2%

業績概要

澤田ホールディングス

事業別連結

平成25年3月期 （平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（単位：百万円）

	銀行関連事業	証券関連事業	債権管理回収関連事業	不動産関連事業	商品先物関連事業	その他事業	連結 ※1
営業収益	18,645	2,913	1,998	4,963	91	120	28,661
営業費用	13,529	2,894	1,879	5,283	421	206	24,078
営業利益	5,115	18	118	△ 319	△ 330	△ 86	4,583
経常利益	※2 5,240	49	86	△ 505	△ 311	633	5,200

平成24年3月期 （平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（単位：百万円）

	銀行関連事業	証券関連事業	債権管理回収関連事業	不動産関連事業	商品先物関連事業	その他事業	連結 ※1
営業収益	15,767	2,619	1,424	5,534	320	140	25,678
営業費用	10,975	2,930	1,373	5,442	722	289	21,579
営業利益	4,792	△ 311	51	91	△ 401	△ 148	4,099
経常利益	4,792	△ 262	33	△ 122	△ 326	1,131	5,241

※1 「連結」は、内部取引を控除後の数値を表示しております。
※2 銀行関連事業の経常利益には、ソリッド銀行（Solid Bank CJSC）の持分法投資利益を加算しております。

営業収益の構成

澤田ホールディングス

事業別営業収益　（外部顧客に対する営業収益）

（単位：百万円）

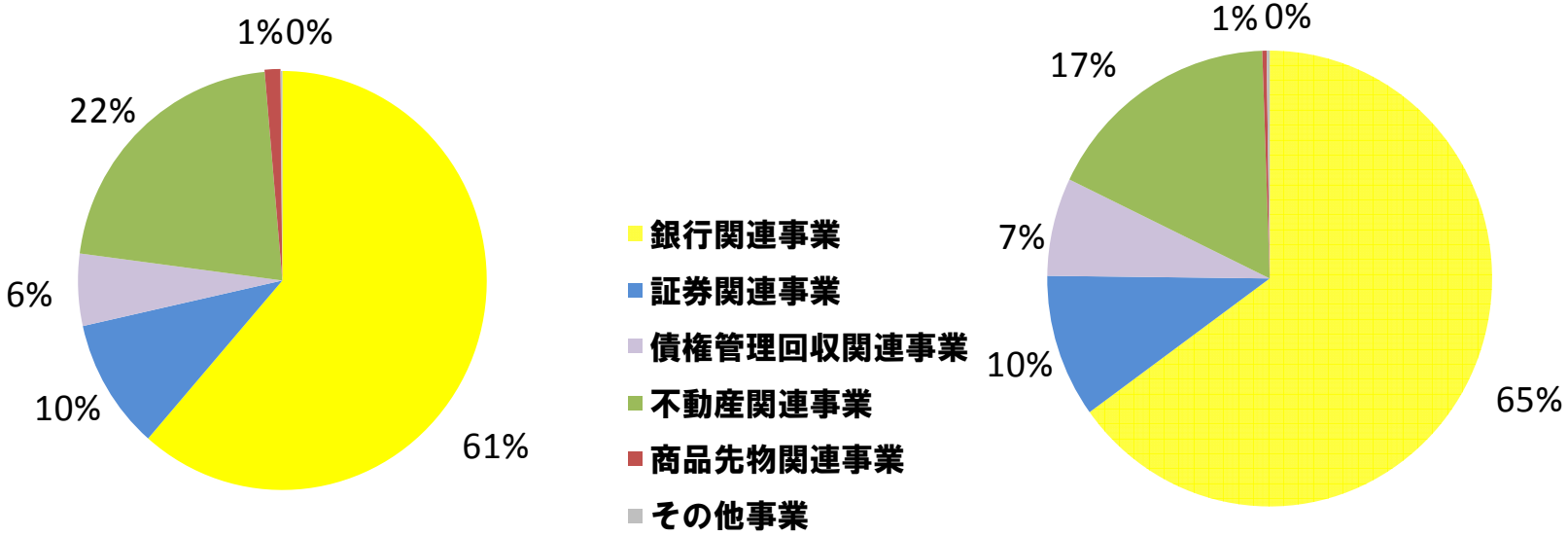
	平成24年3月期	平成25年3月期
銀行関連事業	15,767	18,645
証券関連事業	2,597	2,912
債権管理回収関連事業	1,424	1,998
不動産関連事業	5,534	4,963
商品先物関連事業	320	91
その他事業	34	62
合計	25,678	28,661

平成24年3月期

25,678百万円

平成25年3月期

28,661百万円



ハーン銀行（Khan Bank LLC.）

澤田ホールディングス

（単位：百万円）
（平成24年12月末レート　1円＝16.15MNT）
（平成24年12月期平均レート［12月末時点］1円＝17.05MNT）

商　号	ハーン銀行（Khan Bank LLC.）
所在地	モンゴル国ウランバートル市
資本金	13,198百万MNT（MNT：トゥグルグ）
議決権の所有割合	54.41％
主要な事業の内容	銀行業

	23年12月期	24年12月期	前年同期比
営業収益	15,767	18,645	118.3％
営業利益	4,792	5,142	107.3％
経常利益	4,792	5,142	107.3％
当期純利益	3,536	4,187	118.4％
総資産	123,347	172,030	139.5％

概　況

■世界規模の金・銅鉱山オユ・トルゴイの設備投資は最終段階にあり、2013年からの生産開始が予定されております。
2012年も経済は成長したものの、経済成長率は前年同期比で落ち着き、景気の過熱感は和らいでおります。
また、モンゴル政府は11月に15億ドルの国債（チンギス債）を発行・販売しました。チンギス債で調達した資金は、主に鉄道・道路・発電所等のインフラ整備や鉱山関連事業等の成長産業に利用される予定です。

■インフレは年末で前年同期比14％と高止まりしているため、中央銀行は金融引締めを行っており、モンゴル国内の流動性は逼迫しています。12月に入り、中央銀行は物価安定策として、低利の融資を商業銀行を通じて開始しました。
2012年末にかけて成長速度は鈍化してきたものの、ハーン銀行の預金・融資の残高はともに増加基調にあります。
モンゴル最大の銀行として、今後も適切なリスク管理を行いつつ、業量・収益の拡大を目指してまいります。

（2012年12月末現在）
預金総額　129,758百万円　　融資総額　107,442百万円
※ 預金総額及び融資総額は円換算しております。

エイチ・エス証券（株）

澤田ホールディングス

商　号	エイチ・エス証券株式会社
所在地	東京都新宿区
資本金	3,000百万円
議決権の所有割合	100.00%
主要な事業の内容	第一種金融商品取引業

（単位：百万円）

	24年3月期	25年3月期	前年同期比
営業収益	2,619	2,913	111.2%
営業利益	△ 306	22	-
経常利益	△ 257	53	-
当期純利益	△ 334	494	-
総資産	23,482	31,530	134.2%

概　況

■日本株式営業の強化
・マーケット環境を鑑み、下期に積極的に展開
■外国通貨建社債や世界各国の国債を販売
・トルコリラ建、ブラジルレアル建、ロシアルーブル建社債を中心に、ブラジル、イタリア、スペイン等の国債も販売
■投資信託販売の強化
・新興国の債券投信やアジア・オセアニアの株式投信等を販売
■外国株式取引の強化
・米国株式の店頭取引を開始
■『スマ株』・『モバ株』（モバイル取引ツール）バージョンアップ
・『スマ株』取引No．1を目指し、認知度・サービスの向上に努める
■IPO（新規公開株）業務
・5年10ヶ月振りの主幹事獲得　㈱グランディーズ
・8社の幹事入り　㈱ユニバーサル園芸社、日本エマージェンシーアシスタンス㈱、㈱大泉製作所、㈱アクトコール、日本航空㈱、㈱メディアフラッグ 、㈱エストラスト、㈱enish
■公開買付け（TOB）
・九州産業交通ホールディングス㈱の公開買付け代理人を務める

エイチ・エス損害保険（株）

澤田ホールディングス

商　号	エイチ・エス損害保険株式会社
所在地	東京都新宿区
資本金	1,612百万円
議決権の所有割合	49.63%
主要な事業の内容	損害保険業

（単位：百万円）

	24年3月期	25年3月期	前年同期比
経常収益	2,835	3,157	111.3%
経常利益	121	245	202.2%
当期純利益	212	145	68.3%
総資産	3,003	3,431	114.3%

概　況

■平成24年5月1日　海外旅行保険(「スマートネッと」を除く)の商品改定を実施し、販売を開始

■平成25年3月末（既往1年）「スマートネッと」の契約件数が 13万4千件を突破（24年8月 保険料改定）

・平成25年3月期3月末　契約件数（累計）　68万4千件

・平成25年3月期3月末　収入保険料（累計）　4,683百万円

（注1）経常収益は保険引受収益、資産運用収益およびその他経常収益の合計額
（注2）経常利益は経常収益から経常費用(保険引受費用、資産運用費用、営業費及び一般管理費、その他経常費用)を差し引いた金額

エイチ・エス債権回収（株）

澤田ホールディングス

商　号	エイチ・エス債権回収株式会社
所在地	東京都中央区
資本金	500百万円
議決権の所有割合	100.00%
主要な事業の内容	債権管理回収業 （法務大臣許可第110号）
その他の許可事業	コンサルティング業務・集金代行業務

（単位：百万円）

	24年3月期	25年3月期	前年同期比
売上高	1,424	1,998	140.3%
営業利益	51	118	230.9%
経常利益	33	86	255.5%
当期純利益	20	40	199.6%

取扱債権額	平成25年3月末日管理回収取扱債権額 481,655百万円 内 受託債権額　215,363百万円

概　況

■サービサー業界では、地域金融機関の期末バルクセールも、依然として金融円滑化法の影響を受けて低調に推移した結果、落札価格の高騰が続いています。一方、地方銀行を中心に企業再生に向けた出口戦略の動きも活発化してきております。

■当社営業面においては、主な取引先である地域金融機関取引先数が当初計画どおり順調に増加したことにより、例年を上回る入札に参加して、収益性の高い案件に的を絞って買い取りすることができました。

■回収面では、買取債権からの回収利益や受託報酬（回収受託、集金代行）、コンサルティング報酬により、順調に推移しております。

《管理回収部門実績（平成24年4月～平成25年3月累計）》

債権譲渡額を除いた買取債権の回収	7億69百万円	（前年同期比　140.4%）
回収受託手数料（集金代行含む）	7億90百万円	（前年同期比　195.4%）

（株）外為どっとコム

澤田ホールディングス

商　号	株式会社外為どっとコム
所在地	東京都港区
資本金	778百万円
議決権の所有割合	37.81%
主要な事業の内容	第一種金融商品取引業

（単位：百万円）

	24年3月期	25年3月期	前年同期比
営業収益	5,528	4,276	77.3%
営業利益	1,286	590	45.9%
経常利益	1,516	896	59.1%
当期純利益	496	540	108.8%
総資産	122,023	123,368	101.1%

概　況

■店頭ＦＸ新サービス『外貨ネクストネオ』リリース（平成25年1月17日付）
昨今のＦＸ取引スタイルの主流である短期トレード対応を前提とした高速約定処理システム

■スマホ取引アプリ累積ダウンロード数10万件突破（平成24年8月12日付）

■口座数、預かり資産の2部門「8年連続　ＦＸ業界No.１」達成（平成24年8月）

■「世界一口座数が多いＦＸ会社」としてギネス世界記録認定™　（平成24年6月）

口座数：357,883件（平成25年3月）
預り保証金総額：106,856百万円（平成25年3月）

九州産業交通ホールディングス（株）

澤田ホールディングス

商　号	九州産業交通ホールディングス株式会社
所在地	熊本県熊本市
資本金	1,065百万円
議決権の所有割合	33.40%
主要な事業の内容	バス事業、旅行・観光事業、不動産事業

（単位：百万円）

＜グループ連結＞	24年9月期 第2四半期（10～3月累計）	25年9月期 第2四半期（10～3月累計）	前年同期比
売上高	12,491	12,412	99.4%
営業利益	788	832	105.6%
経常利益	945	952	100.8%
当期純利益	926	637	68.7%
総資産	31,472	31,550	100.3%

概　況

■バスグループ

【バ　ス】熊本～鹿児島間高速バス「きりしま号」2往復増便（H24.4～）、熊本～北九州間高速バス「ぎんなん号」週末1往復増便（H24.4～）及び熊本～京都間高速バス格安便「あそくま号」増設（ツアーバス対策等、H24.8～）、それぞれ輸送人員も前年を上回り好調に推移。熊本～福岡間高速バス「ひのくに号」、熊本～大分間都市間バス「やまびこ号」及び九州新幹線と接続、新八代駅～宮崎間高速バス「Ｂ＆Ｓみやざき」好調に推移。益城パーク＆ライド駐車場拡張（H24.11.1）に伴う高速各路線輸送人員増。

【整　備】車両販売業（新車及び中古車）、鈑金・塗装業及び車両整備業（車検・整備）等が好調に推移。

■ツーリズム

【旅　行】さまざまなイベントが開催されたハウステンボスの「バスツアー」好評。その他バス旅行商品も好調に推移。
※平成24年9月期の上半期は、ねんりんピックの開催により売上高増加。（約226百万円：旅行事業及び貸切バス事業等）

【索　道】阿蘇山ロープウェー、前年度、東日本震災の影響を受け業績低迷をしたものの、海外・国内利用客共に回復基調となり好調に推移。
（海外：前年比　178.9%、前々年比　83.2%、国内：前年比　114.4%、前々年比　77.7%　）

【航　空】熊本空港ANAラウンジ業務新規受託（H24.4～）及びANA特別搭乗旅客手数料収受等により好調に推移。

■ランドマーク

【飲食・物販】本格ピッツァ・レストラン『SALVATORE CUOMO ＆ BAR』熊本下通り店が好調に推移。
宮原サービスエリア上り店リニューアルオープン（H24.11.23）。新規オープン熊本空港ゲート内売店「セカンドりんどう店」等好調に推移。

■熊本フェリー

【フェリー】調査観測兼清掃船『海煌』H24.4.6就航（運行受託）。熊本～島原間高速フェリー「オーシャンアロー」好調に推移。

（注）㈱H・I・S連結子会社化による決算期の変更に伴い、平成25年3月期（平成24年4月～平成25年3月）が半期で終了しております。
（注）前年度当期純利益は、税制改正に伴う土地再評価に係る税効果実効税率の変更により506百万円増加しております。

（株）アスコット

澤田ホールディングス

商　号	株式会社アスコット （JASDAQｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　証券ｺｰﾄﾞ：3264）
所在地	東京都新宿区
資本金	1,434百万円
議決権の所有割合	42.34%
主要な事業の内容	不動産業

（単位：百万円）

＜連結＞	24年9月期 第2四半期 （10～3月）	25年9月期 第2四半期 （10～3月）	前年同期比
売上高	1,908	3,872	202.9%
営業利益	8	90	1,087.9%
経常利益	△ 94	15	－
当期純利益	△ 95	8	－
総資産	8,756	5,436	62.1%

概　況

■分譲マンション開発事業は、共同開発先である不動産開発会社等に2物件売却をしております。

■分譲マンション開発の進捗は、共同事業を含め4物件の開発を推進しており、「アスコットパーク日本橋人形町アトリエ」「アスコットパーク両国亀沢」の2物件は平成25年9月期竣工引渡を予定しております。

■不動産ソリューション事業は2物件の売却を行い、資産及び有利子負債の圧縮と中期経営計画の最重要項目である「地方都市で展開する不動産流動化物件の売却」を推進しております。

■メガソーラー（太陽光発電システム）事業のコンサルティング事業の受託を開始し、契約に至っております。

（注）㈱アスコットは、9月30日決算です。なお、澤田ホールディングス㈱の連結決算に組み込む数値は、仮決算により算出した数値を用いております。

ソリッド銀行（Solid Bank CJSC）

澤田ホールディングス

商　号	ソリッド銀行（Solid Bank CJSC）
所在地	ロシア連邦 カムチャツカ地方 ペトロパブロフスク・カムチャツキー市
資本金	1,213百万RUB（RUB：ルーブル）
議決権の所有割合	40.00%
主要な事業の内容	銀行業

（単位：百万円）
（平成24年12月末レート　1円＝2.87RUB）

	23年12月期	24年12月期	前年同期比
経常収益	2,073	2,739	132.1%
経常費用	1,887	2,503	132.6%
経常利益	185	236	127.4%
当期純利益	148	180	121.7%
総資産	16,735	21,931	131.1%

概　況

■ソリッド銀行はロシア極東地域に本店を置く銀行であり、ロシアにおいて証券・商品・リース・不動産等を幅広く展開する金融グループであるソリッド・グループの一員です。
当社は、12月に第三者割当増資によりソリッド銀行の株式を取得し、同行は当社の持分法適用関連会社となりました。

■ロシア極東地域は、森林・水産資源の他、石油・天然ガス等の豊富なエネルギー資源や鉱物資源を有しており、今後の開発・発展が期待されています。ロシア政府も、極東開発省を設立し、また、2012年9月には極東地域最大の都市ウラジオストクにおいてAPECを開催する等、極東地域の開発に注力しています。

■ソリッド銀行は、支店の新設、他の銀行とのM＆Aによる規模拡大等により、今後更なる発展が期待されるロシア極東地域における最大級の銀行を目指してまいります。